



少し変わった風車

支援の輪

お話を聞いた人は、自宅が崩壊、津波の恐怖から逃れるだけで精一杯だった人たちが殆どだった。生活支援物資の配給や炊き出し、健康相談はとてもありがたいと。

避難所にいわさきちひろのカレンダーを飾りたいと持って行った人。子ども用のおむつと布団をかかえたお母さん、全国からの支援の輪は、復興に向けた一歩となっている。

(撮影 神馬 悟)



アンケート調査 (民医連)



歯科の相談 (民医連)



開場前から長蛇の列



血圧測定 (民医連)



絵本には子どもたちの夢がいっぱいつまっている



つきたてお餅の入ったトン汁は大好評でした